

第1回 市民病院の今後のあり方に関する協議

議事要旨

日時	平成30年2月5日（月） 午後2時45分～午後3時25分	
場所	碧南市民病院 2階 講義室	
委員	出席者 ■出席 □欠席	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 禰宜田市長 <input checked="" type="checkbox"/> 松井副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 加藤委員 <input checked="" type="checkbox"/> 水野委員 <input checked="" type="checkbox"/> 長田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 生田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 奥村委員 <input checked="" type="checkbox"/> 鈴木並生委員 <input type="checkbox"/> 三島委員 <input checked="" type="checkbox"/> 岩月委員 <input checked="" type="checkbox"/> 山中委員 <input checked="" type="checkbox"/> 杉浦友則委員 <input type="checkbox"/> 杉浦三代枝委員 <input checked="" type="checkbox"/> 禰宜田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 神谷委員 <input checked="" type="checkbox"/> 鈴木怜香委員 <input checked="" type="checkbox"/> 神谷委員 <input checked="" type="checkbox"/> 鈴木玲子委員 <input checked="" type="checkbox"/> 對馬委員 <input type="checkbox"/> 森田委員 </p> <p style="text-align: right;">市長・副市長含む出席者計17名</p>
傍聴者	3人	
事務局	<p> 金沢総務部長 梶田病院長 亀岡副院長 杉浦誠副院長 杉浦厚副院長 古久根看護部長 永谷市民病院経営管理部長 山本行政課長 生田経営企画課長 片山資産活用課長 杉浦医事経営課長 斉藤管理課長 中川経営企画課長補佐 野村医事経営課企画推進係長 渡邊医事経営課企画推進係主査 </p> <p style="text-align: right;">事務局合計15名</p>	
会議開催にあたって	事務局より、本日の議事録及び資料は市のホームページで公開することを説明。	
会議次第	1 あいさつ（市長） 2 市民病院の今後のあり方に関する協議について 3 意見交換	
次第1	（市長あいさつ） 西尾市から市民病院の今後のあり方について協議の申し出があったので、皆様さん様々のご意見をいただきたい。	
次第2	参考資料により事務局より説明	
次第3について委員からの主な発言		
委員	西尾市の提案にある将来的な統合とは、どちらか一方に統合という考え方なのか、経営面で協力し合うということなのか。	
事務局	2つの病院を1つにするということである。	
委員	碧南、西尾どちらに統合ということは決まっているのか。	
事務局	全く白紙の状態である。	

委員	<p>昭和30年代の市民アンケートでは、市民福祉の向上ということで早く市民病院を建設してほしいという意見が多数を占めていた。</p> <p>碧南市に統合ということであれば、当初の考え方に沿うものである。</p> <p>仮に西尾への統合となった場合は、西尾、安城、刈谷に総合病院があって碧南にないという状態に戻ってしまう。</p> <p>今の場所での統合ならば受け入れられるが、それ以外の選択肢は受け入れられない。統合は良いが、場所をしっかりと検討してほしい。</p>
委員	<p>この場所にあるので便利だと感じる。新設する場合でも、碧南に新設ということならば良い。</p>
委員	<p>市内なら通いやすいが、西尾は遠いという印象である。碧南で進めてほしい。</p>
委員	<p>統合する場合、今の規模を維持するのか。</p>
事務局	<p>統合に関する協議は全く行っていないが、病床利用率からすると、単純に2つの病床を足して2で割った数ではないと考えている。</p>
委員	<p>企業だけでなく、病院も合併という時代かとも思うが、碧南にあるのであれば賛成である。</p>
委員	<p>何が何でも反対、賛成ということではない。</p> <p>どのように碧南市の医療水準を保つかということが大切である。</p> <p>病院の価値をどう考えるかが重要である。</p>
委員	<p>市内に市民病院があるということは、大きな安心感につながっている。矢作川を越えるということは不安である。</p> <p>これまで市民病院との良好な協力関係があるので、病院との関係が大きく変わることには不安がある。</p> <p>医療全体を考慮して結論を出してほしい。</p>
委員	<p>介護している立場からは、市民病院がなくなると大きな問題が生じる。</p> <p>この場所でも悩みはあるが、西尾に通うことになることさらに困るので、この場所に残してほしい。</p>
委員	<p>碧南市民病院は困っていないということだが、毎年4億から5億円の赤字、10億円を補てんしているならば、10年で100億円以上税金を投入していることになる。</p> <p>このまま何もしない訳にもいかない。場所、負担割合など問題はいろいろあるが、将来どうしていくかは考えていく必要がある。</p> <p>市民にとっては必要だが、税金も投入されている点も考慮すべきである。</p>
委員	<p>国の動向をみると、西知多病院の事例のように複数の病院を1つにすることが方向性である。</p> <p>碧南も西尾もいろいろな患者を診療しており、二次救急の患者を多く受け入れなければ収支が合わない。</p> <p>医師が疲弊しては意味がないので、稼働率の高い部門はいいが、低い部門は相互利用などの棲み分けをすることによって赤字を圧縮することができる。この話はいい機会である。</p>
委員	<p>経営のプロを入れて検討してほしい。いい機会である。</p>

委員	<p>中・大規模病院の黒字化は難しい。</p> <p>統合は簡単ではない。西知多病院は、民間1、公立2を統合してできた病院である。病院もつぶれる時代になっている。</p> <p>どちらの市民も市民病院がほしいと思う。誰かが大英断をしなければならぬ。</p>
委員	<p>現状における病院との良好な関係を崩したくない。</p>
委員	<p>ここに市民病院があったほうが良いし、西尾も同じではないか。</p> <p>ずっと運営して行けるのならそのほうが良い。</p> <p>CTなど大学病院に近い医療の提供も行われており、これまで果たしてきた役割は大きい。</p> <p>しかし、西三河圏域で考えると、安城や刈谷では救急患者が年間9,000件から10,000件であり、西尾は4,000件、碧南は3,000件という状況である。救急部門は年間9,000件から10,000件程度なければ経営は成り立たないので、統合も受け入れざるを得ないという感覚はある。</p> <p>平成32年には岡崎に大病院ができるということもあり、長期的な医療構想の視点も必要である。市民としては近くにあったほうが良いが、圏域という視点からも考えたほうが良い。</p>
市長	<p>多くの意見をいただいたので、総合的に検討していく。</p>

以上